

行財政改革実施計画・行動計画票

[平成 20 年 2 月 22 日 提出]

No.	16	実施済み										
基本方針	1 財政の健全化					担当課名	財政課					
重点項目	2 歳出削減に向けた主要な取り組み (4) 投資的経費の抑制											
取組項目	16 一般財源ベースでの枠設定											
経過・現状 (H17.4.1現在)	・投資的経費を抑制するため事業費の枠の検討を行った。 ・平成16年度、投資的経費 4,428,577千円(うち一般財源 667,863千円)											
推 進 スケジュール	H17	H18	H19	H20	H21	目標年次	平成 18 年 度					
	検討	実施	-	-	-							
実績評価	A	A	-	-	-	達成年次	平成 18 年 度					
	計画どおり	計画どおり	-	-	-							
行 動 概 要	目標	一般財源ベースでの枠設定を行い、投資的経費を抑制する。										
	期待される効果	・後年度の公債費負担の軽減を図る。 ・投資的経費の抑制し、単年度の投資的経費を20億円以内(事業費ベース)とする。 ・一般財源ベースで1億円以内に抑制。										
	必要性 問題点	・歳出を抑制し財政の健全化に資する。 ・事業費の減少による、建設業の倒産(人員削減)、離島者の増加。										
	対象	各課										
	手段	年度	実施内容・予定時期				効果額合計(0 千円)					
		17年度 (実績)	・H17普通建設事業費; 1,929,528千円(見込み) うち 地方債; 542,900千円(見込み) うち一般財源; 291,962千円(見込み)				目標 数値					
			・財政健全化計画の中で普通建設事業費について、一般財源 ベースで1億円、町債の借入上限を7億円との設定を行った。 (H18.12.27)				効果	歳入(千円)		歳出(千円)		
	18年度 (実績)	・H18普通建設事業費; 1,257,365千円(見込み) うち 地方債; 545,400千円(見込み) うち 一般財源; 77,103千円(見込み)				目標 数値	一般財源; 1億円以内					
							効果	歳入(千円)		歳出(千円)		
	19年度					目標 数値	一般財源; 1.1億円以内					
						効果	歳入(千円)		歳出(千円)			
20年度					目標 数値	一般財源; 1.1億円以内						
						効果	歳入(千円)		歳出(千円)			
21年度					目標 数値	一般財源1億円以内						
						効果	歳入(千円)		歳出(千円)			
関係例規等	名称					改正時期						